

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-515790(P2008-515790A)

【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2007-534055(P2007-534055)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/28 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/27 (2006.01)

A 6 1 K 8/26 (2006.01)

A 6 1 Q 1/14 (2006.01)

A 6 1 Q 3/02 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

A 6 1 Q 1/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/28

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/27

A 6 1 K 8/26

A 6 1 Q 1/14

A 6 1 Q 3/02

A 6 1 Q 1/04

A 6 1 Q 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月23日(2008.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ケラチン物質、特に例えば皮膚、口唇、爪、又は毛にメイクアップを施与する、以下の工程を含む方法、

少なくとも 1 の化粧料組成物をケラチン物質の上に堆積する工程、

該化粧料組成物は、

ゼロではない磁化率を示し、磁場の影響下で可動性である少なくとも 1 の物質、

及び

可視スペクトルの少なくとも一部を吸収することにより色を作る少なくとも 1 の

着色剤

を含む；及び

該組成物の少なくとも一部を磁場に暴露して、磁性体の少なくとも一部の配向を変更する及び / 又は磁性体の少なくとも一部を移動させる工程。

【請求項 2】

磁場がかけられて、組成物上に少なくとも１の模様を形成する、請求項１に記載の方法。

【請求項３】

磁性体が顔料を含むことを特徴とする、請求項１～２のいずれか１項に記載の方法。

【請求項４】

磁性体が繊維又は粒子の鎖を含むことを特徴とする、請求項１～３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項５】

着色剤が顔料を含む、請求項１～４のいずれか１項に記載の方法。

【請求項６】

着色剤が水溶性又は脂溶性の染料を含む、請求項１～５のいずれか１項に記載の方法。

【請求項７】

磁場が作られることを可能にする磁石デバイス；及び

以下を含む化粧品組成物：

ゼロではない磁化率を示し、磁場の影響下で可動性である磁性体、及び

可視スペクトルの少なくとも一部を吸収することにより色を作る少なくとも１の

着色剤、

を含む、ケラチン物質にメイクアップを施与するためのキットにおいて、上記磁石デバイスは、前記組成物の堆積物中の被覆されたケラチン物質が前記磁場に挿入されたときに、堆積物内において磁性体の配向及び／又は位置を変更することのできる磁場を作り出すことができるキット。

【請求項８】

組成物がマニキュア液である、請求項７に記載のキット。

【請求項９】

着色剤が複合顔料を含む、請求項７に記載のキット。

【請求項１０】

化粧品組成物において、

ゼロではない磁化率を示し、磁場の影響下で可動性である磁性体、及び

可視スペクトルの少なくとも一部を吸収することにより色を作る少なくとも１の着

色剤、

を含み、磁性体が金属の鉄を含む化粧品組成物。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、自然な表面、例えば皮膚、爪、毛、若しくは口唇、又は人工の表面、例えば付け爪にメイクアップを施与するための方法に関し、またそのような方法を実施するためのキットにも関する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

メイクアップを施与するための方法

本発明の１の側面に従うと、本発明は表面、特に皮膚、口唇、爪、又は毛にメイクアップを施与するための方法であって、以下の工程を含む方法である：

少なくとも１の化粧品組成物を表面の上に堆積する工程、

該化粧品組成物は、

ゼロではない磁化率を示し、磁場の影響下で可動性である少なくとも１の物質（body）、及び

可視スペクトルの少なくとも一部を吸収することにより色を作る少なくとも１の着色剤を含む；及び

該組成物の少なくとも一部を磁場に暴露して、磁性体の少なくとも一部の配向を変更する及び／又は磁性体の少なくとも一部を移動させて、該組成物の外観を変更する工程。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２３】

磁性体

表現「磁性体」は、制限的な態様で理解されてはならず、ゼロではない磁化率を示す、任意の形状の粒子、繊維、又は粒子及び／又は繊維の集団を含む。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０２１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０２１４】

他の成分

典型的には、磁性体を含む組成物は、生理学的に許容される媒体を含む。用語「生理学的に許容される媒体」は、ヒトの皮膚、爪、毛、又は口唇に施与されることのできる非毒性の媒体を意味する。生理学的に許容される媒体は、組成物が施与される表面の性質及び組成物が包装される形態に一般的に適合されている。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０２６５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０２６５】

磁石デバイス

磁石デバイスは、永久磁石、又は、例えば、随意的に再充電可能な少なくとも１の電池により作動される電磁石を含み得る。電池については、磁石デバイスは、電磁石が電気で選択的に作動されることを可能にするスイッチを含み得る。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０２６６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０２６６】

磁石デバイスは、経時的に変化する配向のある磁場を創り出すようにアレンジされ得る。磁石デバイスが磁石を含むとき、デバイスは該磁石が回転されることを可能にするモーターを例えば含み得る。変形においては、磁石デバイスは電気で逐次的に作動されるとき、回転磁場を作り出すように配置された複数のソレノイドを含み得る。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０２６８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0268】

電磁石はユーザーにより所望されるように、連続的に又は断続的に作動され得る。特に、第一組成物により被覆された表面の近くに磁石デバイスが正しく位置付けられていない間は、電磁石が作動される必要がないように磁石デバイスがアレンジされていてもよい。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0270

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0270】

磁場をかけることを容易にするために、磁石デバイスは、組成物が堆積された表面に相対的に位置付けられることを可能にする部材を含んでいてもよい。これは、磁石デバイスが誤って、組成物と接触することを防ぐことを可能にする及び/又は考慮下の領域に形成された模様を中央にくるようにすることを可能にする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0271

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0271】

本発明の実施において、磁石デバイスは、化粧品組成物を施与するために使用されるアプリケーションに保持されている。これは、ユーザーにより操作される必要のある対象の数を減らすことを可能にし、メイクアップを施与することを容易にする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0272

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0272】

本発明の別の実施において、磁石デバイスは、化粧品組成物を施与するために使用されるアプリケーションのハンドルに接続された第二の端を有するロッドの第一の端に取付けられた磁石を含む。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0274

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0274】

本方法を実施するためのキット

別の実施態様に従うと、本発明は上で定義された方法を実施するためのキットをもまた提供する。該キットは

磁場が作られることを可能にする磁石デバイス；及び

以下を含む化粧品組成物：

ゼロではない磁化率を示し、磁場の影響下で可動性である少なくとも1の物質、及び

可視スペクトルの少なくとも一部を吸収することにより色を作る少なくとも1の着色剤

を含み、磁石デバイスは、組成物の堆積物中の被覆されたケラチン物質が磁場に挿入され

たときに、堆積物内において磁性体の配向及び／又は位置を変更することのできる磁場を作り出すことができる。

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0275

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0275】

特に、該組成物が表面、例えば皮膚、口唇、爪、又は毛に施与されたのち、その外観を変えるために、該組成物内の磁性体の配向及び／又は位置を変更することができるために十分に強い磁場を作り出すように磁石デバイスがアレンジされてもよい。

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0278

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0278】

磁石デバイスは上で定義されたようであり得る。

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0279

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0279】

キットは、第一組化粧料組成物及び磁石デバイスを収容するためのコンパクトを含み得る。この場合、コンパクトは、種々の模様を作り出すために、例えば種々の形状の複数の磁石を含み得る。

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0283

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0283】

図1は、表面、例えば皮膚、口唇、爪、毛、又は付け爪にさえに堆積された後、組成物の外観に影響を及ぼす配向及び／又は位置を有する磁性粒子Pを含む化粧料組成物C₁を含むキット1を示す。

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0285

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0285】

キット1は、組成物C₁と接触することなく組成物C₁の外観を変化させるのに有用である磁場を創り出すことを可能にする磁石デバイス10をさらに含む。

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0286

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0286】

考慮下の実施態様において、磁石デバイス 10 は、長尺軸 X の支持部材 13 により支持された永久磁石 12 を含み、磁石 12 の極軸は軸 X と実質的に直交している。

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0287

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0287】

考慮下の実施態様において、磁石デバイス 10 は、回転磁場を創り出すようにアレンジされ、支持部材 13 をその軸 X の周りに回転させるように、ケーシング 15 に格納されたモーター（示されていない）を含む。

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0291

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0291】

図 4 に示された次の工程において、ユーザーは磁石デバイス 10 を表面 S の中央領域 R の上へもっていき、スイッチ 16 を始動させて、磁石 12 を回転させる。

【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0306

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0306】

当然に、該組成物の性質が何であれ、そこにかかる磁場は回転する必要はない。例えば図 7 は、その末端に棒の形状の永久磁石 12 を含む磁石デバイスを示す。

【手続補正 22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0308

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0308】

その性質が何であれ、磁石デバイスは、表面 S に相対的に位置付けられることを可能にする部材を含んでいてもよい。

【手続補正 23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0309

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0309】

例えば、位置付ける部材は、磁場がかけられている間、磁石デバイスが組成物に触れることを妨げるように機能する。

【手続補正 24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0314

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0314】

例えば、磁石デバイス 10 は、柔軟な構造の形態であり、例えば交互に並ぶ N 及び S 極を

作る、磁化された粒子で満たされたプラスチック物質からできており、そうすることにより、繰り返される模様、例えば縞を第一組成物で被覆された表面上に形成することを可能にする。

【手続補正 25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0333

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0333】

図14は、第一組成物C₁を含むポット、及び電力供給を格納するケーシング44の末端に電磁石40を含む磁石デバイス10により構成される容器2を含むキット1を示す。

【手続補正 26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0342

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0342】

【図1】本発明のキットの実施例を示す線図である。

【図2】図1の磁石デバイスを示す図形的かつ断片的な軸切断図である。

【図3】使用されているキットを示す線図である。

【図4】使用されているキットを示す線図である。

【図5】本発明により得られることのできる模様の例を示す。

【図6】表面に施与されるのに適切である追加の組成物を含む容器を示す線図である。

【図7】使用されることのできる磁石デバイスの別の実施例を分離して示す線図である。

【図8】メイクアップされた表面と向き合う磁石を位置付けるための位置付け部材を備えられた図7の磁石デバイスを示す線図である。

【図9】本発明のキットの別の実施例の線図である。

【図10】本発明のキットの別の実施例の線図である。

【図11】使用されている図10のキットを示す。

【図12】磁石デバイスに保持されたアプリケーターの例を、正面において及び独立して示す線図である。

【図13】本発明のキットの別の実施例の軸及び図式の切断である。

【図14】本発明のキットの別の実施例を示す線図である。

【図15】組成物のための包装用デバイスの別の実施例を示す。

【図16】本発明の方法の実施の間に使用されるのに適する穴の開いたマスクを示す。

【図17】本発明の方法の実施の間に使用されるのに適する磁性シートを示す。

【手続補正 27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0343

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0343】

- | | |
|----|---------------|
| 1 | キット |
| 2 | 容器 |
| 3 | 閉鎖キャップ |
| 4 | 化粧用アプリケーター |
| 5 | アプリケーター部材 |
| 10 | <u>磁石デバイス</u> |
| 12 | 永久磁石 |
| 13 | 支持部材 |

1 5	ケーシング
1 6	スイッチ
1 7	延長部分
2 0	房にされた末端部
2 5	接着面
3 0	コンパクト
3 1	ベース体
3 2	蓋
3 3	コンパートメント
3 4	ハウジング
4 0	電磁石
4 4	ケーシング
4 5	スイッチ
5 0	コンパートメント
5 1	キャップ
6 0	ポンプ
7 0	マスク
7 1	模様
7 5	シート
C ₁	第一組成物
C ₂	第二組成物
P	磁性粒子
R	中央領域
S	表面
X	軸